

つくば市議会報告会

日時 2022年1月22日（土）

開催方法 Zoom

テーマ（担当）	質問・意見	回答
つくばまちなかデザイン会社について （都市建設委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ・つくばまちなかデザイン(株) は、市に対して毎年いくら払う予定になっているのか、市議会議員はいつどのような形でその金額を知ったのか。 ・地方自治法第237条第2項、「普通地方公共団体の財産は条例または議会の議決による場合でなければ、これを適正な対価なくして、これを貸付てはならない。」と定められている。地方自治法第237条第2項違反にならないようお願いしたい。吾妻交流センター4F部分に関しては議決をしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日つくばまちなかデザイン会社のつくば市へ支払う賃貸料は、おおむね一年間で約1000万円と回答いたしました。その根拠は令和3年4月15日に開催された「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会勉強会」で示された資料に基づきます。この時点での貸付面積と実際の契約時の貸付面積に差異があるため、実際の契約時の賃貸料は一年間で945万円です。
つくばまちなかデザイン会社について （都市建設委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ・つくばセンタービルに深夜まで営業するビアバーができる。第三セクターが公共性・公益性のない民業を圧迫するのは原理原則に反している。見解を聞きたい。 ・にぎわいを取り戻すという観点からも、民業圧迫は危険なことなので、ぜひ市議会の議員の皆さんでよく話し合ってください。それが要望です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、つくば駅周辺には、深夜営業のバーなどがいないということから、働く人を支援する場の利用者だけでなく、様々な人の交流を促すために、営業時間が長いカフェ、特別委員会でつくばまちなかデザイン株式会社の内山社長から、酒類も提供したいというようなお話があります。 第三セクターが公共性、公益性上、民業を圧迫をするとの質問ですが、明確な回答ではないと思いますが、現在のリニューアルというのは、つくばセンターに働く人を支援する場を整備運営する予定のつくばまちなかデザイン株式会社が、駅周辺の活性化を実現するために行うものであります。 この会社が行う事業が地域の魅力を高め、地域全体の価値を向上させることから、周辺の事業者へも好影響があると聞いています。 市民意識調査においても、つくば駅周辺のにぎわいに関する市民の要望が大変強いことから、この会社が行うさまざまな事業により、つくば駅周辺に新たなにぎわいが生み出されることが期待されます。
図書館新設について （文教福祉委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市の図書館に行く朝一から並んでいる学生が多く、研究学園都市の名に恥じない学問熱心な子たちが多いまちだと思ふ。それに対して図書館の規模や蔵書の面からみても貧弱な感想がある。水戸の県立図書館を見に行くと素晴らしい建物が立っている。税金面からつくば市に立派な図書館があっても良いと考える。つくば市立図書館の現状と問題点について、改装、新設などの話は出ているのか。 ・家で学習ができない環境にあるからこそ、そういうところで一生懸命学習している学生さんたちも多いです。そういったところも考慮して、学習スペースの確保に結構力を入れたほうがいいのではないかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館の施設改修については、市長公約の事業にも位置づけられており、滞在型図書館を実現するために中央図書館の施設改修を行う予定にしています。 改修が実現するまでには、図書の貸出、返却できる場所を増設したり、移動図書館の車両が2台だったものを今年度1台増車し、3台にして多くの地域を回ります。 また、電子書籍も扱うようにしていく予定です。閲覧席の不足については、コロナ禍において休日でも空席が発生している場合もありますが、新型コロナウイルスが終息した後の需要は見込まれますので、滞在型の図書館を実現するために、必要な施設の改修も検討しているということも確認しています。より充実した図書館になるように、先進事例などを参考にし、改装または新設することも含めて、検討・研究してまいります。

テーマ（担当）	質問・意見	回答
<p>いじめについて （文教福祉委員会）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者調査委員会の調査員の報酬が1人8,000円だが、これをもう少し上げることはできないのか。 ・ いじめ対策について、寝屋川市の取組事例をつくば市でも導入していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8,000円と条例で決まっているので、条例を改正しないと金額を上げる事が出来ません。 <p>※つくば市は令和4年3月定例会において議案第19号つくば市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、が可決されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見参考にさせていただきます。
<p>委員会中継と議会報告会の回数 について （議会運営委員会）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会中継と議会報告会について、録画でもいいので委員会中継を行ってはどうか。また意見交換会も年1回ではなく回数を増やしていくことは大事ではないか。 ・ 委員会中継ができるよう見直しの議論を進めていってもらいたい。または議事録を早く出す（特に特別委員会）ことが大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ つくば市議会は平成27年の4月から、議会基本条例を掲げて、こういう交換会もこの第9条で行うことにしています。その中に見直し規定があり、現場の議会運営委員会の中でも、委員会の録画中継も含めて話しを持ちました。各会派の間でも意見に温度差があるので、他の議会の状況を見ながら、検討するというような方向にしました。現在、議会運営委員会の中でも、問題意識を持ってこの議論をしております。論点の一つには上がっております。
<p>地球温暖化・脱炭素対策 （都市建設委員会）</p>	<p>2050年に向けての脱炭素対策、CO2排出実質ゼロを世界中で掲げていますし、日本政府も表明しています。議会でも積極的に行動して行って欲しい。</p>	<p>つくば市でも環境白書というものを提示しています。CO2削減に関しても示してはいますが、2050年に脱炭素排出ゼロを目指すところまでの指針は出ていないと記憶しています。</p> <p>世界の中の日本、日本の中の地方自治体であるなら、当然真剣に取り組む大きな課題ですので、今後議会での議論を深めていこうと思います。</p> <p>※つくば市は令和4年2月14日市議会3月定例会において、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「つくば市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。</p>

テーマ（担当）	質問・意見	回答
議会報告会について （広報広聴委員会）	市議会の方々にはもっと市民の意見を聞いてもらいたい。またもっと多くの人に参加してもらいたかった。マイクの音が聞き取りづらかった。テーマを決めて話し合った方が良いと思う。情報をいかに市民に伝えるか課題。	<p>議会報告会は年1回開催しております。それでもまだまだ市民の皆様の意見をくみ取れていない部分があると思いますので、広報広聴委員会として受け止めさせていただいて、こういった形で、今後やれるのかということを検討してまいります。</p> <p>また広報に関しては今回、市議会だよりのお正月号と市の公式Twitter、Facebook、ホームページで広報しましたが、訴求できなかった点は反省して、今後につなげてまいります。</p> <p>マイクの音に関してはオンライン会議の実施方法等の改善を図りたいと思います。</p> <p>※現在オンライン会議の実施方法の改善を図っています。</p> <p>テーマを設定することや議会としての情報を如何に市民に伝えるかという課題についても広報広聴委員会として今後とも検討してまいります。</p>
ガバナンスに関して （議会）	最近の市政を見ていると非常にまずい。ガバナンスがまともに機能していない。市民の意見などを議会にちゃんと話をせずに先走っている。不透明なものに対して話をしっかりと聞かないというのはおかしい。市の職員は法律を理解しており、それを市議会議員にレクチャーするもの。それをできない環境があるのか。議会がちゃんと声をしっかり出してほしい。また（議会報告会に関して）テーマを決めてしっかり話し合うことをした方が良い。	ご意見として承っております。また頂いたご意見で対応できる点（テーマを決めての議会報告会）等は検討してまいります。